

# 勢和だより

平成30年5月31日  
勢和小学校



体育館裏の土手で、一輪のささゆりを見つけました。低い草むらの中にポツンと清楚なピンク色の花を咲かせています。勢和では、有名な「地域の花」です。

ささゆりは、日本を代表するゆりで、関西では珍しくないですが、関東では見られません。ささゆりが特別なのは、美しい花であるだけでなく、栽培がとても難しいからでもあります。

ささゆりが育つのは、山の東斜面にある明るい日陰で、なおかつ酸性の土壌でないといけないそうです。園芸をされる方にとっては、ささゆりが連作を嫌うことや病気になりやすいことで、栽培難易度がとても高い植物らしいです。限られた自然の中でのみ姿を見せてくれるさ

さゆりは、自然の変化にとっても敏感であるということがわかります。丹生の山に咲くささゆりはもう少し赤みが強く、これもまたとてもきれいです。ささゆりが咲く自然をこれからも守っていきたいですね。

## 「水の道調べ(5年生)」5月29日



先日田植えをした5年生が「水の道調べ」をしました。「水はどこからどうやってくるの」というテーマのブックトークの後、高橋さんに、立梅用水を案内していただきました。



江戸時代に造られた立梅用水は、およそ200年たった今でも勢和地域の田畑を潤し、防火・環境用水としても今も役立っています。勢和にとってはまさに命の水を運んでくる用水であるばかりでなく、豊かな農村文化を育んできた施設でもあります。ご存知の通り、立梅用水は、国の「登録記念物」・世界の「かんがい施設遺産」に登録されています。地域の人びとと水土里ネット立梅用水が協働し、この地域資源を「保全」し「活用」というさまざまな活動を通じて、心豊かな里づくりを進めています。本校のSOCSの活動(おまめさんかなあプロジェクト)にも全面協力していただいています。

## 6月の予定

- 7日(木) 歯みがき教室(1・4年生)  
SOCS授業「あじさいの話」3年生
- 11日(月) 内科検診(1・3・5年生)
- 12日(火) プール掃除
- 15日(金) 内科検診(2・4・6年生)
- 18日(月) プール水泳開始

- 20日(水) SOCS授業「さつま芋苗植え」1年生
- 21日(木) 眼科検診
- 23日(土) PTA救急法講習会・地区委員長会議
- 25日(月) 思春期保健講座 6年生
- 28日(木) ノーメディアデー
- 29日(金) SOCS授業「命の入口心の出口」4年生

# 校長のつぶやき



▽○■\*※□△  
◆△□・・・？

私が津田小学校にいた頃・・・といっても教師としてではなく、生徒としていた頃の話です。(昔話を始めると、いかにも自分が長く生きてきたようですが、実際そんな歳になってきたようで、一読いただければと思います・・・)

それはT先生との出会いです。T先生は、私が小学校4年生の時の担任の先生です。「あれから50年」なので当時の記憶はほとんどありませんが、たった一つだけT先生から教わったことを鮮明に覚えています。

その話はこういう話でした。

「私(T先生)は、写真を撮るのが好きで、人や風景の写真をたくさん撮ってコンクールに応募してきました。でも、何度コンクールに応募しても入賞することはありませんでした。それで、どうやったら入賞できるのか、人より美しい写真・人を感動させる写真が撮れるのかと考えるに考えました。そしてある日、ふと、カエルの写真を撮ろうと思い立ち、田んぼの中に寝っ転がってひたすらカエルの写真を撮りました。カエルと同じ目の高さで泥だらけになって撮影したその写真は、それまでどんなに頑張っても賞をとれなかったコンクールで見事賞をもらったんだよ」

というような話でした。

T先生は何を伝えたくてこの話をしてくださったかは覚えていません。でも、このお話は小学生の私にとって、「あっそうか」と目からうろこのお話でした。次の年、5年生の私は、校内写生大会でこの話を覚えていて、友達がみんなきれいな秋の風景を描いているというのに、一人、学校近くのどぶに入り込んで、捨てられ流れ着いたゴミの絵を描いたぐらいです。(どぶの絵は失敗作で入選はできませんでしたが…)

私は、T先生から何を教わったのでしょうか。

- 人と同じでなく、自分らしくあれ。
- 自分の夢のためには、時には、はいつくばってでも努力すること。
- 見方を変えて初めて見えるものがある。相手と同じ目線に立つことが大事。
- きれいなものでなく、美しいものを見抜く目を持つ。

これらは、後になって先生の話をも自分勝手に美化したものかもしれませんが、自分の中では、これらはT先生から教わったことだと今も確信しています。

ところで、「ヒドゥン・カリキュラム」というのをご存知でしょうか？「かくれたカリキュラム」と訳されるものです。

学校では、各教科・領域で細かな教育計画を立てて授業を行っています。この計画のことを「カリキュラム」と呼んでいます。

それに対して「かくれたカリキュラム」は、目に見えず、暗黙の了解の中で子どもに伝わっていくカリキュラムです。そこでは、先生が意図しないのに伝わっていく「物の見方や考え方・感じ方」がたくさんあります。

私は、T先生との1年間、教科書でどんなことを教わったかはあまり覚えていませんが、この数分間の話は、大切な価値観として、きっと人生の最後まで覚えていると思います。

今考えると貴重な「かくれたカリキュラム」だったんですね。

因みに、**ご家庭での子育ての場面にもこの「かくれたカリキュラム」はたくさんあるように思います。**子どもは家庭で、親の意図的・計画的な教育を受ける場面よりも、親の言葉や行動を見て体験的に様々な価値観を身に着けていくことの方がはるかに多いと思うのです。

(う～む。子どもは、親のいいとこだけをマネしてはくれませんが・・・。むしろ逆のことが多いのが困ったところです。)